

小林春彦

Kobayashi Haruhiko

18歳のビッグバン

見えない障害を抱えて
生きるということ

18歳の春に「**広範囲脳梗塞**」で倒れ、
一命はとりとめたものの、
「**高次脳機能障害**」に…。
厳しいリハビリを克服して、
28歳の筆者は、いま、
講演やトークイベントなどで東奔西走する。

「見えない障害」問題を訴える渾身の書

あけび書房

四六判、240ページ **本体1600円** ISBN978-4-87154-138-1

あけび書房

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5 TEL.03-3234-2571 FAX.03-3234-2609
E-mail: akebi@s.email.ne.jp http://www.akebi.co.jp

「見えない障害」問題を考える

18歳の春に「**広範囲脳梗塞**」で倒れ、
一命はとりとめたものの、

「**高次脳機能障害**」に…。

厳しいリハビリを克服して、28歳の筆者は、いま
講演やトークイベントなどで東奔西走する。



小林春彦 [著]

1986年 大阪府吹田市生まれ
2005年 私立三田学園高校卒業
2005年 脳梗塞に倒れ、救命のため開頭手術を執行
2007年 東京大学主催「DO-IT Japan」に選抜・修了
2008年 東京大学先端科学技術研究センターに就任

中・高校時代は吹奏楽部に所属し全国大会に出場。18歳の春に「**右中大脳動脈閉塞症・広範囲脳梗塞**」に倒れ、身体機能と脳機能に重複した障害を抱える。3年の闘病を経て半身不随など一部の障害を克服するが、外見から困難が分からない中途障害者となる。

現在は「DO-IT Japan」リーダーとして全国で「**健常者福祉**」などをテーマに講演をおこない、トークイベントやメディアにも多数出演。
Twitterアカウント: @koba_haruhiko

- プロローグ — 母校からの講演依頼
- 第1章 生立ち～三田学園時代
- 第2章 診断名「**右中大脳動脈閉塞症・広範囲脳梗塞**」
- 第3章 姿を現した障害との闘い
- 第4章 自分探しの日々
- 第5章 未来に向けて
- エピローグ — 原宿駅、雨宿りの再会

本書「まえがき」より

親や先生が、マルやバツを付けてくれる答えの用意された問題は義務教育ぐらいまで。社会や人生には、答えのない問題ばかりが横たわっています。そして、それに気づきながら人は生き、自ら考え自分だけの答えを見つけ出していくのだと思います。

若輩者のわたしですが、もし本書が、そういった難題に直面し、悩んでいる人たちにとって、一つでも参考になることがあれば、神に生かされた二度目の人生を心より幸福に思います。……

キリト線

ご記入のうえ、最寄りの書店が取扱先、あるいはあけび書房が著者へご注文下さい。

『18歳のビッグバン』を () 冊注文します

書店印・取扱先

その他・備考

氏名・団体名

送り先 〒 () () ()

() () () 電話 ()

ご担当者氏名

あけび書房
TEL 03-3234-2571
FAX 03-3234-2609

取扱店: トーハン・日販・大塚屋・中央社・大洋社・栗田・日教諭・全官報・新日本図書・JFC・大友図書・鎌倉書店